

教育しずくいし

平成27年度雫石町教育振興運動実践交流会 開催！ 「子ども・親・学校・地域・行政」で考える雫石町の教育

※写真は家読標語コンクール入賞者表彰の様子
入賞作品は教育しずくいし11月号に掲載しています。



クイズとアンケートに答えると、雫石の美味しいものが当たる!?

協賛懸賞クイズ・資料館「今月一品」(4ページ)

〈今月のプレゼント〉雫石駅前に8月にオープンした大判焼き&立ち飲みバル「寺の下 big bang」さんおすすめ「大判焼き」お好み3個セット（お好きな大判焼きを3つ選べる特別セットです。）



正解者の中から3名様に進呈します。

〔 CONTENTS 〕

- ★できごと紹介(12月のトピックス)..... 2
- ★特 集..... 3
- ★生涯学習・文化芸術・スポーツ情報...4~5
図書館/懸賞クイズ/施設・講座案内等
- ★教育行政・学校のページ.....6~7
定例会レポート/シリーズ「輝」等
- ★対談・編集担当「N」の小屋..... 8



〔12月5日〕

平成27年度雫石町教育振興運動実践交流会開催

今年度の教育振興運動の集約大会である実践交流会が、約350人の参加者を得て熱い盛り上がりの中で終了しました。

西根・橋場小学校実践区による実践報告は、全町の共通課題であるテレビ・ゲーム時間削減に関わる取り組みなどのほか、西根小学校では被災地を訪れ奉仕活動を行った復興教育、橋場小学校では地域の防災マップを作成する防災教育など、各校の特色が表れた素晴らしい発表でした。

東海大学の小澤治夫先生の講演は、現代社会の様々な問題や、朝食・睡眠などの生活習慣を確立することによる学力・体力への良い影響などについて、多くの映像やデータをもとに話してくださいました。時には、ステージから客席に降り、参加していた高校生の前に立ち熱く語りかけるなど、バイタリティあふれるお話しぶりに時間が経つのも忘れる程でした。



西根小学校



講演会の様子



橋場小学校

〔12月5日〕

雫石町教育委員会表彰で町内8個人・4団体が受賞

この表彰は、町の教育及び文化の発展に著しく寄与した個人・団体に対して行うもので、町の表彰基準見直し後、平成25年度から実施しています。平成27年度は二期に分けて実施し、今回の表彰では、下記の方々が登場して受賞となりました。

＜受賞者（個人・団体名）及び受賞理由 ※敬称略＞

- 佐々木響子〔雫石小4年〕（第19回日本モーツァルト音楽コンクールジュニア1部門ナンネル賞受賞ほか）
- 諏訪由奈〔雫石小2年〕（第39回ピティナ・ピアノコンペティション東北日本福島地区本選A1級 本選優秀賞）
- 松原佑奈〔雫石小4年〕（2015カワイウタのコンクール東北大会小学校3・4年生コース 銀賞及び奨励賞）
- 煙山紅之葉〔雫石小3年〕（2015カワイウタのコンクール東北大会小学校1・2年生コース 銀賞）
- 櫻田俊〔雫石中3年〕（第36回東北中学校陸上競技大会 男子共通400m 第3位）
- 高橋太星〔雫石中3年〕（第36回東北中学校陸上競技大会 男子共通110mH 第4位）
- 雫石中学校陸上部男子（第36回東北中学校陸上競技大会 男子総合 第4位）
- 雫石中学校男子バレーボール部（第45回東北中学校バレーボール大会 第3位）
- 上中屋敷拓志・倉橋正斗〔ともに雫石高3年〕（平成27年度全国高等学校総合体育大会ボート男子ダブルスカル準優勝）
- 上原小児科医院 院長 上原充郎（昨年「上原小児科医院開院40周年記念チャリティコンサート」を開催し、コンサートの収益金と上原院長からの寄付金、会場での募金を町や児童福祉施設等5ヶ所へ寄贈し、町立図書館には児童書を寄贈された。今年度も継続して町立図書館へ図書を送っている。）
- おはなしの雫（平成16年に結成され、「しずくいしおはなし会」「雫石町親子読書のつどい」等、子どもたちの読書活動推進に貢献している。）
- 佐々木浩子（平成15年から町教育委員会教育委員、平成18年から平成26年まで教育委員長職務代理者として児童生徒の健全な心身の育成及び確かな学力の育成のため尽力された。）



〔12月7日〕

東京アカデミック管弦楽団による学校芸術鑑賞コンサート開催



指揮者体験

雫石町観光大使の七澤英貴さんが代表を務める一般社団法人東京アカデミック管弦楽団の演奏による学校芸術鑑賞コンサートを町内の小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に開催しました。このコンサートは、七澤さんの「雫石町子ども達に上質の音楽を」とのご好意により実現したもので、今年で2回目となります。今回も、クラシック音楽から映画やテレビでなじみの深い曲など幅広く披露していただきました。また、指揮者体験や会場が一体となった全体合唱など、音楽を聴くだけでなく体感することができ、とても楽しいコンサートとなりました。

その他、こんなことがありました…

〔18～25日〕 町内小中学校終業式。〔25日〕 県学校歯科保健優良校表彰で町内の小学校が選出。（優良校：七ツ森・御明神・大村・南畑小 努力校：上長山・下長山・西根小）

今年度の県学習定着度状況調査が10月7日に小学5年生と中学2年生を対象に実施されました。

《各教科における平均正答率》（※中学校は町内1校であるため数値の公表は控えます。）

今年度は、本調査が平成21年度に実施されてから初めて、小学5年生の平均正答率が全教科で県平均を上回り、大変素晴らしい結果となりました。特に算数では県よりも4.6%高い結果です。各校での朝学習や昼休みを利用した既習事項の定着を図る取組の積み重ねが成果になってきたものと考えます。次年度への継続が期待されます。

中学校では中学2年生の理科と英語が県の平均を上回りました。しかし、それ以外の教科では下回っている状況です。定着の不十分な部分についてしっかりと結果を振り返り、次の学年に上がる前に補習をする必要があります。今年度から、中学1年生については「中学校新入生学習状況調査（国語・算数）」として本調査と切り離して4月に実施され、また、英語についても「中学1年生英語確認調査（CAN-DOテスト）」として3学期に行うことになっています。

	小5(10月)				中1(4月)		中2(10月)				
	国語	社会	算数	理科	国語	数学	国語	社会	数学	理科	英語
県平均との差	➡ (+2.6)	➡ (+1.9)	➡ (+4.6)	➡ (+4.4)	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡
雫石町 (%)	65.7	72.7	77.7	72.6	下回る	下回る	下回る	下回る	下回る	上回る	上回る
岩手県 (%)	63.1	70.8	73.1	68.2	69.1	74.0	66.2	46.2	52.8	55.8	47.7

〈表1 町と県平均との比較〉

《結果から見る傾向と課題》

下の表の小問正答率から、実際に体験したり実験をしたりした事柄や、生活の中で比較的身近な内容については正答率が上がっていることが分かります。（例：コメ作り、肥料、少子高齢化など）。

一方で、「自分の考え」を「書いて答える」項目については大きな課題が見られます。授業で自分の考えを書いたり発表したりする時間をしっかりと確保したいものです。また、家庭でも新聞やテレビのニュースなどから得た情報について会話をするなど、自分の考えを書いたり述べたりすることで伝える力を積極的に育てていきたいものです。

学年・教科	県平均との差(%)	町として県平均を特に上回った項目	県平均との差(%)	町として県平均を特に下回った項目
小5	国語 +13.3	漢字の組合わせが同じ熟語を答えることができる。	-10.2	4年生で習う漢字「覚える」を、正しく書くことができる。
	社会 +10.1	米作り農家の人々の米の生産の費用を減らす工夫について資料を読み取り考えることができる。	-3.4	学校の周りの様子について、方位をもとに地図を読み取ることができる。
	算数 +15.0	3位数 ÷ 2位数の計算で割られる数について考えることができる。	-4.5	整数の乗法の計算ができる。 (809×64)
	理科 +17.2	肥料をあたえた植物が良く成長することを理解している。	-9.6	冬の間の水道管の凍結による破損について、その原因を説明できる。
中1	国語 +17.4	和語、漢語の区別が分かる。	-30.0	文章の構成に注意して意見を書くことができる。
	数学 +15.6	複合図形の体積の求め方を考え、説明することができる。	-10.7	選び方を考えて場合の数を求めることができる。
中2	国語 +12.2	漢字「遺産」を正しく書くことができる。	-39.2	資料から課題を見つけ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。
	社会 +14.3	少子高齢化について理解している。	-16.6	経度差から時差を読み取ることができる。
	数学 +16.3	多項式の減法の計算ができる。 ($(5x+7y)-(4x+3y)$)	-11.6	比例のグラフから2つの数量の関係を読み取り、1時間当たりの電気代を求めることができる。
	理科 +19.9	根毛について理解している。	-13.9	浸食について理解している。
	英語 +11.2	会話（どこにいたかを尋ねる場面）の流れを理解し、正しい表現を選択できる。	-15.9	キーワード（beautiful）を聞き正しく書くことができる。

〈表2 各教科の小問のうち特に県平均を特に上回ったもの（左）と下回ったもの（右）〉

【問い合わせ】 学校教育課（692-6412）

今月の一冊・イベント情報 一 雫石町立図書館

【HPアドレス】 <http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/docs/2015112300014/> 【電話】 019-692-5959

読書の壺 今月のこの一冊

『屋号は“せんせい”一ギリギリと偶然の神様に愛されて』 藤原 恒子/著

「私の屋号は“せんせい”である。」で結ばれる本書は、音楽教師として勤め上げ、現在もボランティアや、合唱などの音楽活動の場で活躍する著者の自叙伝です。

「他人は皆先生」という学びの心を忘れない著者が、町内の方から、屋号の代わりに“せんせい”と呼ばれ慕われている様子が、あたたかく心を打ちます。是非ご一読ください。



聞いて楽しいおはなし会

幼児・小学生対象 しずくいしおはなし会

日 1月23日(土) 10:00~10:30 場 町立図書館
「へそもち」渡辺 茂男/作
「雪の上のなぞのあしあと」あべ 弘士/作 など

乳幼児対象 たんぼぼおはなし会

日 1月21日(木) 10:30~11:30
場 中央公民館

・えほん「このゆきだるまだ一れ？」
・紙芝居「がちゃがちゃえんのおつかせんせい」
・パネルシアター「おだんごぼん」
・工作「おにさん こわい?やさしい?」 ほか

乳幼児対象 つどいの広場「たんぼぼおはなし会」

日 2月5日(金) 10:30~11:00 場 健康センター

お知らせ (図書館の利用について)

【開館時間】 9:00~17:00
(水・金曜日は18:00まで)

【1月・2月の図書館休館日】

1月18、25日
2月1、8、15、22、29日



2月1日~14日は、第56回岩手の読書週間です。
スローガン「スマホより 読書する彼 カッコいい」

☆“本のこうかんひろば”開催します☆

読まなくなった本を持ち込んだり、読みたい本を持ち帰ったり、もちろん両方でもOK!!

【期間】 2月5日(金)~15日(月)

【場所】 中央公民館 1F ふれあいひろば

【おねがい】 ①マンガ雑誌や週刊誌及び書き込み・落書き等のある図書を持ち込みはご遠慮ください。

②図書の持ち込みは、こうかんひろば開催期間中にお願ひします。

クイズとアンケートに答えて、雫石の美味しいものを当てよう!

協賛懸賞クイズ・知ってる?資料館「今月の一品」



【問題】 写真は、小日谷地IB遺跡から出土した石製の矢じりです。黒く光り、ガラスのように鋭く割れるのが特徴です。雫石町は、県内3ヶ所しかないこの石の産出地の一つとして知られています。さて、この矢じりの材料となった石の名前は、何でしょう?

(ア) ヒスイ (イ) 黒曜石 (ウ) めのう

【協賛懸賞品ご提供者】 寺の下big bang

(雫石町寺の下47-5/TEL019-907-1250)

<https://www.facebook.com/bigbang-1498664217121555/>
ご提供ありがとうございました!

正解者の中から抽選で、大判焼きお好み3個セットを3名様に差し上げます。

【応募要項】 はがき・FAXまたはメールで①答え ②郵便番号・住所 ③氏名(当選時、本名掲載を希望しない場合ペンネームを併記) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥今月号の感想 ⑦今後取り上げてほしいテーマなどを記入し、1月29日(金)(必着)までに社会教育課「教育しずくいし」担当あてに応募してください。応募は1人1回限りとします。

・はがきのあて先: 〒020-0595 雫石町千刈田5-1

・FAXのあて先: 019-692-1311

・メールのあて先: shakyou@town.shizukuishi.iwate.jp

クイズの正解と当選者は2月号で紹介いたします。お楽しみに!

《12月号協賛懸賞クイズの正解・当選者発表!》ご応募ありがとうございました!

正解: (ウ) おしら様……………今月号もたくさんのご応募お待ちしております!

当選者: 藤村 愛さん(町内)/米澤 弥志夫さん(町内)

お店の自慢の一品を紹介してみませんか? 懸賞品の協賛を募集中! 詳しくは社会教育課(692-6413)まで。

講座・教室 参加者募集

第13回雫石町民劇場「サギ師と守り神」 今年も二日間公演!! ～前売券販売中～

雫石の深い森で数百年前からまちを見守っている3人の神様たち。彼らは時代の変化になかなかついていけず、神様の世界のリストラの対象になってしまいます。そんな中、雫石に3人の詐欺師が現れ、お年寄りや若い女の子に目をつけ金儲けを画策! まちを守るために立ち上がる神様たちとサギ師たちとのなんともおかしな戦いのゴングが鳴ります!

日時 2月13日(土) 開演18:30 (開場18:00)
2月14日(日) 開演14:00 (開場13:30)
場所 中央公民館・野菊ホール
入場料 前売券 一般1,000円(当日券1,200円)
高校生以下無料(ただし整理券が必要です。)

*無料託児室もご利用できます。

前売券取扱場所 中央公民館、各地区公民館、村上写真館
問い合わせ 中央公民館へ(692-4181/受付:平日8:30~17:15)



岩手の読書週間記念行事 末盛千枝子講演会
「震災から5年のいま考える絵本のこと」

日時 2月7日(日) 13:00~15:00
場所 中央公民館 2階視聴覚室
講師 3.11絵本プロジェクトいわて代表
末盛 千枝子さん(彫刻家舟越保武氏の長女。
絵本編集者を経てすえもりブックス設立。)

申込 2月3日(水)までに図書館へ(692-5959)
*無料託児室をご希望の方は事前にお申込みください。

中央公民館・料理教室「厨房レッスン」

鶏肉のホワイトソース煮に挑戦!

日時 2月24日(水) 10:00~13:00
場所 中央公民館・調理実習室
講師 町食生活改善推進員連絡協議会のみなさん
定員 先着20人
費用 1人500円
申込 2月16日(火)までに中央公民館へ
(692-4181/受付:平日8:30~17:15)

*無料託児室をご希望の方は事前にお申込みください。

参加チーム募集!

2016雫石インドアキッズベースボール

日時
1stステージ 2月11日(祝・木)
ファイナルステージ 3月13日(日)
〔※1stステージ上位6チーム以内による〕

場所 町営体育館
参加資格 町内の小学校に在籍又は町内スポーツ少年団に所属している児童で、スポーツ安全保険などの各種傷害保険に加入していること。

チーム構成 代表者(20歳以上)1人と選手6~8人で構成。男女混合での参加もできます。

募集定数 先着12チーム

参加費 登録選手1人つき 500円
※優勝・準優勝チームに副賞、参加選手全員に参加賞があります。

申込 1月16日(土)~31日(日)までに町営体育館へ(692-5030)

初心者大歓迎!御所公民館「編物教室」

日時 1月16日(土)~2月8日(月)の毎週土・月・木曜日〔1月23日(土)は除く〕/全10回
10:00~16:00※講座の進み具合により、時間が短縮、延長する場合があります。

場所 御所公民館・和室

講師 杉澤 陽子さん

対象・定員 町内在住または勤務の方・先着20人

費用 1,000円(材料費が別途かかります。)

持ち物 編物道具(編針、毛糸など)

申込 御所公民館へ(692-2214)

受講料無料!「軽スポーツ教室」

冬場の運動不足の解消と健康な体づくりを目指しましょう! どなたでも気軽に楽しめる教室です。

日時 1月25日、2月8日、2月22日、3月7日の隔週月曜日 18:30~20:00

場所 御明神公民館・多目的ホール

内容 キンボール・ドッチビー・ファミリーバドミントンなど(種目は参加者数に応じて決定。)

対象 町内在住または勤務の方

持ち物 上履き、タオル、着替えなど

申込 各開催日の前日までに御明神公民館へ(692-3228)。当日参加も受け付けています。

滴石史談会主催・公開歴史講座

演題 「戊辰戦争殉難者五十年祭 原 敬」

〈講師:前 原敬記念館館長 木村 幸治さん〉

大正6年9月8日盛岡報恩寺で行われた戊辰戦争殉難者50年祭。この日政友会総裁であった原敬は「旧藩の一人」として祭壇に顔き、戊辰の戦いを「政見の異同のみ」と述べ、盛岡藩が「賊軍」とされた屈辱の歴史への決別を宣言した。その時の原敬の思いとは…。

日時 2月11日(木・祝) 14:00~15:30ごろ

場所 中央公民館・視聴覚室

対象 町民どなたでも

聴講料 200円(資料代等)

その他 事前申込不要です。当日会場にお越しください。

教育委員会定例会リポート (11-12月)

—— その1 議案編(12月定例会) 12月定例会で審議された議案はありませんでした。——

—— その2 質疑応答編(11月) ——

11月の定例会では、教育委員会表彰者の決定、小学校統合の進捗状況及び今後の進め方、教育振興運動実践交流会の開催方法についてなどが話し合われました。

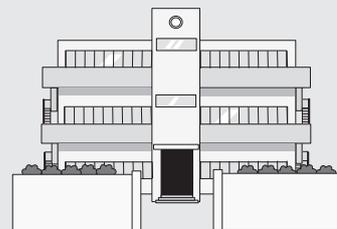
教育委員会議は、非公開事案以外は傍聴できます。【問い合わせ】学校教育課 (692-6412)

お知らせ 御所地区は1年、西山・御明神地区は2年、統合の目標時期を延長します

教育委員会では、町内10小学校を5小学校に統合する「雫石町立小学校適正配置基本計画」を平成25年10月に策定し、平成28年4月までに統合することを目標に保護者、地域住民等を対象とした説明会、懇談会及び意見交換会等を実施してきました。

しかし、現時点で、統合に向けた具体的な内容を検討する(仮称)統合準備委員会をいずれの地区でも組織できておらず、平成28年4月の統合は不可能と判断し、基本計画を変更することといたしました。変更の主な内容は、統合目標時期を延長するもので、御所地区は1年延長し平成29年4月に、西山地区と御明神地区については2年延長して平成30年4月に統合した新しい小学校の開校を目指すこととしたものです。ただし、統合の時期については、統合準備委員会が検討する事項に含まれますので、確定しているものではありません。

今後は、いずれの地区においても統合準備委員会を組織し、その中で統合に向けた課題等の協議及び検討を行うと同時に、教育委員会でも統合準備委員会から示された疑問等に回答するため、役場内の関係する課を集めて調整を進める予定です。



いじめを「しない・させない・見逃さない」

雫石町いじめ防止等のための基本的な方針

町教育委員会では、「いじめの問題克服のためには、全ての児童生徒を対象としたいじめの未然防止の観点が必要であり、全ての児童生徒が自他ともにいじめを許すことなく、心の通う対人関係を構築できる社会性のある大人へと育み、いじめを生まない土壌をつくるために、関係者が一体となった継続的な取組が必要である」との方針の下、「雫石町いじめ防止等のための基本的な方針」を策定しています。

この方針の基本理念は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめが行われなくなるようにするとともに、いじめを受けた児童生徒の生命や心身を守ることを目的に、町、学校、家庭、地域住民、その他の関係者が連携しながら、いじめの問題克服を目指すことを明記しています。

いじめ防止対策について

「雫石町いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、教育委員会では各学校や関係機関との連携を図りながらいじめの発生防止に取り組んでおり、小さなことでも対応と検証を行い、重大事態防止に努めています。

関係機関によるいじめ防止のための協議会(雫石町いじめ防止等対策連絡協議会)は定期的に、重大事態が生じた場合に調査を行う委員会(雫石町いじめ問題対策委員会)は必要に応じて、開催していく予定です。

基本的な方針の詳細は、町のホームページをご覧ください(<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>)。

～保護者の皆さんへ～

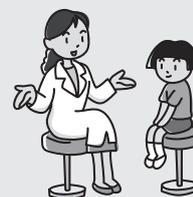
気になるときはご相談ください

「学校に行きたがらない」「登校時間になると体調不良を訴える」「友達と遊ばず一人であることが多い」等、お子さんの様子が普段と違って、いじめなどが疑われる場合には学校や教育委員会、または下記の相談窓口へ一刻も早い相談をお願いします。

※いじめ相談電話(岩手県教育委員会) 019-623-7830

※メール相談アドレス(岩手県教育委員会) fureai@pref.iwate.jp

※全国共通24時間いじめ相談ダイヤル 0570-078310



シリーズ「輝」
No.127

豊かな心を育てる「復興教育」

西根小学校 副校長 深野 淳

西根小学校では、被災地「陸前高田市」を訪問してきました。訪問の目的は、復興に取り組んでいる方々の活動を見たり体験したりすることで、地域を思う心「絆」の大切さを知り、地域を愛し、将来は地域へ貢献できる児童の育成を図ることです。

陸前高田市では、気仙大工・左官伝承館にある「希望の灯り」の前で、葛根田地区消防団の方々と葛根田少年消防クラブによる「鎮魂ラッパ」の演奏と黙祷を行いました。また、高田松原を守る会のみなさんが育てている松の苗木畑の除草や石拾いを行ってきました。



学習発表会

このほかにも、「防災教育」として震災当時、中学生であった「菊池のどか」さん（現在岩手県立大学生）をお招きして当時の体験に基づいた防災について学習しました。

被災地訪問学習や防災学習で学んだことは、子どもたち自身の思いや考えを交えながら、学習発表会で発表し、地域や家庭へ発信することができました。



鎮魂ラッパ演奏



ボランティア活動

子どもたちの力作を紹介します

しずくいしギャラリー

—本人(○)と先生(◆)からのコメント—



1年 櫻田 稜太郎
「さつまいもほり」

○もう少しでおいしいお芋が食べられると思うと、さつまいもを抜くのが楽しかったよ。ツルを引っ張るところが釣りに見えたよ。みんなで食べたらあまいあまいさつまいもだったよ。

◆いきいきと楽しそうに描いていました。友達の色もみんな楽しそうです。稜太郎さんをはじめとして、1年生全員がきれいな色でのびのび自由に絵を描く天才です。



4年 小林 弘人
「きれいな本棚」

○ぼくは、のこぎりで三角に切るところがとても難しかったです。ボンドをくっつけるところも難しかったです。色々な色を塗ることを工夫しました。家で、本を置くのに使いたいです。

◆将来、大工さんになりたい弘人君。しっかりと長さを測り、のこぎりで真っ直ぐ切り、ボンドで丁寧に組み立てました。その表情は、まるで職人さんのようでした。将来が楽しみです。



6年 杉下 生眞
「楽しくセロ弾きゴースン」

○ぼくは、国語の授業で宮沢賢治を学習して、賢治の「セロ弾きのゴースン」を読みました。作品を作るときに工夫したことは、色をカラフルにして楽しさを表現させたことと、ガラスのところに猫を描いたところですよ。本にも登場する猫がとてもかわいらしかったので描きました。

◆賢治の作品に親しむために6年生それぞれが自分で作品を選び、お気に入りの場面を絵に表しました。生眞さんは、ゴースンの楽しさを表現するために色彩を工夫しています。夜の暗い中に一際目立っているゴースンが印象的です。

聞いてきました! シリーズ対談・編集担当「N」の小部屋

〈第10回〉全日本シニアバドミントン選手権大会で3連覇を果たした 横手智江さん



第28、30、31、32回全日本シニアバドミントン選手権大会年代別シングルス部で見事優勝し、3連覇を果たした横手さん。バドミントンとの出会いから現在までを伺いました。

(N) バドミントンを始めたきっかけは何でしたか？

(横手智江さん：以下(横))

中学の部活で始めました。本当はテニス部に入りたいかったのですが、当時は「エースをねらえ」が流行っていて入部希望者が多かったんです。バドミントン部はあまり強くなかったんですが、私の入学と同時に赴任してきた多田美保子先生が前任校でバドミントン部を全国に連れて行った先生で、「私が来たからには全国目指すようなチームにします。」と言われて驚きました。また、選抜されて陸上部もやっていて、陸上を18時くらいまでやってからバドミントン部に行って21~22時まで練習していたので、毎日へとへとでした。



(N) ちなみに当時の成績というのとは？

(横) 中学3年生の時、私はシングルス・団体戦が県優勝で、ダブルスの子たちも県優勝でした。東北大会では3位でした。2位になったら全国に行けたんですが、あと一歩でした。高校は、当時強かった青森県の千葉学園に進学しました。高校3年生になる直前の春の全国選抜でダブルス、団体ともに2位で、インターハイもシードをもらっていたのに、団体戦ではみんな精神的に崩れて負けてしまいました。個人戦では、応援団がみんなエースの方に行って、私は誰にも期待されないから、のびのびとやって、まぐれでシングルス3位になってしまいました。

(N) 県外の高校に行くことにご両親はどんな反応でした？

(横) 県1位だからと言って、全国区の高校に行ったところで花が咲くとは限らないと家族は大反対でした。でも多田先生が、「自分の力を試してみないか。声がかかる人なんてほんの一握りで、すごいことなんだ。」って言ってきて。毎日のように先生が、私よりも先に家に来て、父と話していて、父は「そんな強い高校に行ってもやっていけるわけないんだ。岩手の高校で一番を目指せばいい。全国で勝てなくても、全国に行くだけですごいんだから。」と言って、私もそうだよなと思いつつも、なんかやっぱり東北で負けたという悔しさもあって…最後は私が親に、「自分でちゃんと責任取るから行かせてください。」と頼み込んだら、父も母もポカーンとして、「じゃあ」って言ってきて。自分が決めたならということで。

(N) 多田先生が大きい存在ですね。ところで、横手さんは高校卒業後はどうされたんですか？

(横) 静岡県のヤマハ株式会社の

実業団に在籍しました。日本リーグの試合にも出ていたりしたんですが、成績といったら福岡国体の団体戦で2位になったぐらいですね。社会人でベスト16とかで、実業団にいさせてもらえるだけでありがたいなという感じでした。選手をやめてからも会社員として働いていたんですが、子どもを連れて雫石に戻ってきたのが14年ぐらい前です。当時は子供が小さかったので、バドミントンも全くできずにいました。またやるきっかけになったのが、娘が小学校に入って手がかからなくなって、「私の人生ってこれでいいんだろうか？」と思った時に、「そうだ、私バドミントンをやっていたんだ」と思って、健康のためにやろうかなと。そしたら、また結局若いときの思いが甦ってきて、勝ちたいなとどんだのめりこんできて、今に至ります。

(N) 今バドミントンをやっていて良かったことは？

(横) 健康でいられるということが一番なのと、今3連覇ということで全国に出ると、全然知らない全国の選手に話しかけられたり、応援されたりすることです。今回岩手県からの参加者が少なく、誰も応援団がいなかったのですが、どこからか拍手聞こえると思うと、対戦した選手の方が応援してくれたりして、バドミントンでつながる人の輪というのがすごいなと思って(泣)。「横手さんを目標に頑張ります！」とか言われると、目標とされるほど立派ではなくて、ただ好きでやっているだけなんです。そう言われると、やってきて良かったなと。バドミントンを通じて自分でも人間の幅が広がるというか、いろんないい思いも辛い思いもしているなと思います。



(N) 町民のみなさんに伝えたいことは何ですか？

(横) 私が丈夫なのって、実家のお米をすごい食べているからかなと。スポーツ選手を見ていると、やっぱり食べるということとは人間の基本で、雫石のお米をいっぱい食べたらみんな丈夫になるんじゃないかなと思います。あと、今子どもたちもスポ少とかが土日もある大変だと思っていますが、農家を手伝うと、その大変さとかお米のおいしさがわかるし、こうやったら楽にできるんじゃないかとか考える力もついて、スポーツにもつながるんじゃないかなと。私自身もですが、バドミントンだけじゃなくて、いろんなところに目を向けていたら、もっとスポーツ選手としてもプレーに幅が出て、人間的にも強くなるんじゃないかなと思います。

あとがき

新年あけましておめでとうございます。昨年は、教育広報リニューアル、個人的には引越など、変革の年であったと思います。今年も変化を恐れずに、創意工夫をしながら、この一年を充実させていきたいです。今年も「教育しずくいし」をよろしく願います。(N)

2015年もあっという間に終わり、2016年となりました。大人になると時間の流れが早く感じると思いますが、本当にその通りだなと実感しています。これは日々の生活への慣れからくるもののようなので、今年はいくつか新しいことにチャレンジして、楽しい1年にしたいです！(KA)

雫石町教育委員会広報紙「教育しずくいし」2016(平成28)年1月号(1月14日発行)

編集・発行 雫石町教育委員会 〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1 担当：社会教育課
TEL 019-692-6413(直通) E-mail:shakyou@town.shizukuishi.iwate.jp

雫石町役場ホームページアドレス：<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>から 暮らしと行政 → 教育委員会 をクリック！